

# SPA9000 のハント グループの設定

## 目次

### [概要](#)

[ハント グループを設定するにはどうすればよいですか](#)

### [関連情報](#)

## 概要

この記事は、Cisco Small Business 製品 ( 以前の Linksys Business シリーズ ) のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援するドキュメントの 1 つです。

### Q. [ハント グループを設定するにはどうすればよいですか](#)

#### A.

この記事では、デバイスでハント グループを設定する方法について説明します。また、ハントグループの例、そしてハントグループの例のコールフローを示します。

ハント ルールの設定では、次の手順に従ってください。

#### ハント ルールの設定

##### ステップ 1 :

[SIP] をクリックし、[PBX Parameters] の下にある [Hunt Groups] を探します。この例でフィールドに指定されているハント ルールは「4089993001:5001|4089993000:5000,cfwd=aa」です。これは、ユーザ ID 4089993001 を持つコールが [Line] タブに入ってくると、内線番号 5001 に転送されるという意味です。2 番目のハント ルールは、ユーザ ID 4089993000 を持つコールが [Line] タブに入ってくると、そのコールは内線番号 5000 にルーティングされ、誰も応答しないと、そのコールは自動応答に転送されるという意味です。

##### ハント ルールの例 1 :

注: 疑問符 ( ? ) はワイルドカードを意味します。それで、発信者が「530」をダイヤルすると、PBX サーバに登録されている「530」のプレフィックスを持つすべての内線番号が呼び出されます。各回線番号は 10 秒間呼び出されます。「1」は内線番号を呼び出す回数を意味します。

##### ハント ルールの例 2 :

注: このハント ルールは、発信者が SPA9000 の [Line] タブのユーザ ID をダイヤルすると、内線番号 5300 が常に呼び出されることを意味します。誰も電話に応答しないと、そのコールはボイス メール ID 5300 を持つボイスメールに転送されます。

## 関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)